

山麓もよう

交流の家周辺の体験情報をご紹介します！



【木洩れ日館】

いつもと違うカラゴロリ、気づいた方がいるかもしれません。今回の春号から表紙絵が変わりました。描いてくださっているのは赤城県道沿いにある蕎麦屋「ささや」の女将、浅見明子さんです。もともと絵を描くのが好きだった浅見さん。お母さんに送った絵手紙がきっかけで、忙しい時間の合間を縫って絵を描くようになったそうです。消しゴムは使わずに、6Bの鉛筆を使って線を描きます。そうすると力の入れ方によって強弱がはっきりとし、線が生き生きとするそうです。文章は、鉛筆くらの細さの竹や葦を斜めに切ったものを使い、絵を見て思いついたままに綴っていると話してくれました。



浅見さんの絵は「ささや」のすぐ隣にある「木洩れ日館」に展示されています。心が温まる絵、生きる力がみなぎってくる言葉。赤城にいらした際には、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。(文：渡邊)

蕎麦屋の女将でもある浅見さん。その温かな人柄と笑顔は、訪れる人の心を癒してくれます。

■ささや：〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山1733 (電話 027-288-4351)
■木洩れ日館：ささやのすぐ隣 入館料300円 (ささやで食事をされると200円で入館できます)

リレーcolumn またっの目

『山の思い出』

文：手島 まき子
【てしま まきこ】



子どもの頃は、大人に連れられて赤城や榛名など近場の山によく出かけました。私はどちらかというとインドア派の子もだったので「眠いし疲れるし、マンガ読みたいのに出かけるのやだなあ」と、しぶしぶついて行ったものです。しかし今になると、そのとき見た景色がとても懐かしく思い出されます。その思い出は辛いとき支えとなってくれました。今では、不平顔の私にめげずに連れ出してくれた周りの大人達にとても感謝しています。自然の中で体験活動をするのはとても大切なことだとしみじみ思いました。



私は、利用者の皆さんと直接かかわることはありませんが、皆さんの赤城の生活に不便の無いように、日々務めていきたいと思っています。

いつも穏やかに、周りを和ませてくれる手島さん。毎回ユーモアのセンスが光る、職員をつぶやきコーナーにも注目です。

つぶやき田

【テーマ：自由にひとこと】

- 前回2年半、今回4年と大変お世話になりました。色々と勉強させていただきまして。「心のふるさと」赤城の発展と皆さんの活躍を期待しております。(原田)
- やったことがない気づけないものだなあ。「ご飯作るって大変」知って初めて「3品も凄いな」とか。今年度も赤城でお世話になります。(高橋悠)
- 「春眠晩を覚えず」を学んだ時から、眠いときは一年中使ってしまった言葉でした。もう新年度なんですな〜。(丸山)
- 春は出会いと別れの季節。「人生は邂逅なり」。今の自分があるのは、これまでの出会いのおかげ。全ての出会いに感謝。(小倉)
- 大切に育てたシクラメンの満開の花と父の笑顔が重なります。「がんばれ」と言われているようです。(鈴木)
- 春になって、外で遊ぶにはいい季節。交流の家も活気が出てくる季節。今年はどうなチャレンジができるかな。(田野崎)
- 春ということで不足気味のビタミンを意識して春野菜等で摂取していきたいと思えます。(森田)
- 日本ミツバチの養蜂にトライします。まず群れを揃えて…。おいしいハチミツを、乞うご期待！(大工原)
- 春といえば…花粉症の季節です。自然のいたずらに困っています。今年はヨーグルトを食べて乗り切ります。(新井)
- デント泊をしてみようと思いましたが、うっかり山の怪談話を読んでしまひあまりの怖さにやめました。(手島)
- 冬が終わり、花粉の襲来(これさえなければ春はいい季節なのにね…)。季節の移り変わりを感じます。次の冬が待ち遠しい。(田村)
- 赤城での3年間はあつという間でしたが、貴重な体験ができました。これも皆様のおかげです。ありがとうございました。(根本)
- あと1年間、赤城に勤務できることになりました。還暦の体を奮い立たせ仕上げの1年を頑張ります。(杉浦)
- 3月末をもって交流の家を去ります。お世話になった職員や関係者の皆さま、どうもありがとうございました！(高橋浩)
- あつという間に2年が経ちました。1年後すっきりとした気持ちでいられるように3年目を頑張ります。(田中)
- 出会いは別れ。寂しいけれど、毛虫が道路を横断する季節(春)を思うとわくわくします。過去や未来にとらわれずその瞬間を大切にしたいです。(渡邊)
- さよならから色んなことが始まることに期待！新しい道へ進みます。赤城で過ごした4年8ヶ月は私の宝物です。(森)
- 16年ぶりにスキーに行きました。板や靴の性能もわかり、運動能力が落ちているのに、昔よりうまく滑れるようになっていてびっくり。次回は、コブにチャレンジしたいです。(阿左見)
- 新年度を迎え、複雑な気持ちになるのは自分だけかぁ…。今年は無理せず自分のペースで自分の仕事をしていきます。(佐藤)
- 兄や、キャンプで出会った仲間が、新たな道へ歩みだします。自分も、誰の真似でもない生き方を見つけていきます。(大濱)

風と太陽のくにからの通信誌

カラゴロリ



見ようよ
思えば
見えしころだよ

聞こうよ
思えば
聞かざるころだよ

それが優しさ
なんですよ



風のおと

『人事異動の春』

赤城も桜の開花を迎えました。ここは市街地より10日ほど遅く満開を迎え、春の強風とともに一斉に桜吹雪で終わります。今年は、例年開催していた『桜フェスタ』はございません。これからは沿線の赤城千本桜祭りを応援していくことになりました。今までご協力をいただいた皆様、何卒ご容赦ください。

さて、交流の家ではこの春に5人の職員が転勤、退職をいたしました。

事業推進室長の根本純一さんは、故郷の茨城県に戻り、県庁生涯学習課の行政職として活躍を期待しています。

また、5年間勤務した黛若葉さんは、NPO法人まえばし農学舎の一員として、子どもたちへ農業体験活動の普及を行います。群馬大学に戻る職員も2人います。在職中お世話になりましたことを、この書面を借りて御礼申し上げます。

今年も地域と連携しながら、より主体的で対話的な体験活動を目指してまいります。よろしくお祈りいたします。

所長 杉浦 俊之

次号は、
7月1日発行予定！

体験の風を
おこそう

「交流の家HP」
「Facebook」で
当所の情報を更新中



国立赤城青少年交流の家 <http://akagi.niye.go.jp/>

TEL:027-289-7224 (9:00~18:00) FAX:027-289-7226

あかぎ カラゴロリ

検索

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27 E-mail:akagi@niye.go.jp

自然体験フォーラム2017

～想いでつながる、そしてはじまる～

2月11日(土)～12日(日)、1泊2日で自然体験フォーラムを行いました。県内外から159名の参加があり、今まで1番人数の多いフォーラムとなりました。年齢も10代から70代まで幅広く職種も様々でした。「自然体験」をキーワードに集まったみなさんが2日間、時間が許す限り本気で語りあい、笑いあい、様々な場所で新たなつながりが生まれていました。

今年の全体会は、「自然のある暮らし、自然と寄り添う暮らし」をテーマに、ソトコト副編集長の小西威史氏を講師にお招きし、第一部では地方が注目されている背景などを話していただき、第二部では実際に群馬県内で別々のスタイルで活躍されている3名も壇上に上がり、自然体験で得たことなどをテーマにトークセッションを行いました。

ワークショップは野外調理や藁のほうき作りや防災についてなど内容は様々で、どれもみなさん楽しそうに参加していました。今年は家族参加も多く、託児ブースも賑やかでした。このフォーラムでつながった縁が、何かのはじまりになることを楽しみにしています。また来年も開催しますので、ぜひ赤城にお越しください。(文: 黛)



【ワークショップ一覧】

- 【1日目】**
- ①生物多様性と農業・農体験
～無駄になるものは何もない～
 - ②森の中で子どもと遊んで20年
～森の冒険遊び場で子どもたちが感じること～
 - ③ロケットストーブって何だんべえ
～節電・省エネ出前講座～
 - ④GEMSを使った大人のためのアクティブラーニング体験
 - ⑤木のある生活～木育って知っていますか～
- 【2日目】**
- ①大人のB級クラフト
 - ②子供の頃の体験がもたらす効能
～今の子どもに必要な体験とは?～
 - ③本物に触れる特別な体験～魚が教えてくれること編
 - ④群馬で一番雪深い「まち」にはなぜ移住するのか
～移住して気付く表現しきれない魅力とは～
 - ⑤地域の魅力の活かし方
～行事や特産品がないならつくりましょう!!～
 - ⑥野外炊爨で楽しく防災



ポスターセッションも行われました。各団体の代表者と話をすることで特徴や取り組みを知ることができました。(写真左)



各ワークショップでは、皆さん真剣な表情で取り組んでいました。様々な学びや気づきを得られたようです。(写真右)



プログラム紹介!

【あかぎ植物観察】

春を迎え、散歩をしながら周りの草木に目を向けると「見たことのない花だな。何ていう花だろう。」と思うことがあります。そんな風に思った時、植物のガイドをしてくれる人と一緒に歩いてみたら、様々な新しい発見や「なるほど」と思うたくさんの体験ができると思います。

この「あかぎ植物観察」のプログラムは、交流の家の敷地内を散策し、ガイドの方の解説を聞きながら自然を楽しめる活動になっています。交流の家の敷地内には、赤城山山頂周辺の植物の様子をギュッと集め、赤城山を表現した場所もあります。

温かくなり、様々な植物が目覚ますこれからの時期にぴったりな活動なので、ゆったりとした時間の中で、じっくり赤城の自然を楽しんでみてはいかがでしょうか。忙しい日常の中に、豊かな時間が生まれるかもしれません。(文: 田野崎)

10～15名程度のグループごとに、交流の家の敷地内を散策します。所要時間は約2時間で、じっくりと赤城の自然に触れ合うことができます。



国立赤城青少年交流の家で活躍する、非常勤講師やボランティアの方をご紹介します

この人に会いたい

●国立赤城青少年交流の家 研修指導員
あかぎアドベンチャープログラム(AAP)

加藤 央さん (ちゅうやん)

教育学部で学んだことがきっかけで、子ども達と関わる仕事をしたいと考え、児童館に就職したちゅうやん。もっと野外教育に特化したいという思いから、現在は全国各地で、野外教育の仕事をしています。趣味は、映画鑑賞やギターを弾くこと。スケートボードは毎日練習していて、トリック(技)ができるようになりたいとのこと。AAPは、普段隠れがちな内面の自分であったり、普段はなかなか見ることのできない思いがけない仲間の一面など、多くの“出逢い”が起こりうるプログラムです。プログラム中で一生懸命に自分たちの時間をつくりだす子ども達の姿は、とてもカッコいいとのこと。そんな子ども達の気持ちや温度を常に感じながら、これからも共に活動したいそうです。ぜひ、ちゅうやんのファンリレーションを見てみてください。(文: 丸山)



私生活も多趣味なちゅうやん。その引きだしの多さとユーモアのセンスで、出会う人を惹きつけます。

見学相談会のお知らせ

皆さまに安心して快適に交流の家をご利用いただくために、事前の打ち合わせやプログラム内容を相談する機会として、今年度は「見学相談会」を開催することになりました。この日は全ての参加者を対象とした施設の全体説明会を行います。説明会后、必要に応じ職員との打ち合わせも予定しております。参加をご希望される方は、実施日の7日前までにお電話にてお申し込みください。日程につきましては交流の家のホームページをご覧ください。
※昨年度まで個別に受けていた相談を、見学相談会としてまとめました。施設見学のみ下見は、随時受け付けております。(文: 新井)

～表紙絵の植物紹介～

【イワウチワ】イワウチワ(岩団扇)は、イワウメ科イワウチワ属の多年草です。和名は、葉の形状が団扇に似ていることに由来します。3月下旬から4月上旬にかけて小さな淡いピンク色の花を咲かせます。花言葉は「春の使者」と「適応力」。「春の使者」は、山間部に咲く可憐でしつやかな姿が「春の訪れ」を告げてくれる存在としてイメージされたもの。「適応力」は、岩場のような厳しい環境でも花を咲かせることからつけられたのでしょうか。可憐さと芯のつよさをあわせもつ花のようです。



(文: 鈴木)

赤城山ツリーズ 第5回

「食材へのこだわり」

「チーズ工房Three Brown」松島さん

「いつか牛を飼ってチーズをつくりたい」という夢を持ち続けて18年。2011年に赤城山麓で、ブラウンスイス種の牛3頭と一緒に酪農を始めました。牛たちがくれたミルクの優しい味わいを、しっかりと感じることでできるチーズを、1つ1つ丁寧に手づくりしています。美味しいチーズをつくるためには牛たちが育つ環境を整えることも大切です。美味しい草を食べてもらうには土作りからこだわりの必要があります。ただチーズだけをつくるのではなく全てが大切で全てが繋がっていることをチーズをつくることを通して知りました。時期によっては乳量が少ないとチーズの量も限られてしまうこともありますが、無理せずこだわりのことを忘れず美味しいチーズをみなさんに提供し続けたいと思います。



これからの動き 下記の事業の詳細はこちらまでお問い合わせください TEL: 027-289-7224 国立赤城青少年交流の家

■ボランティア養成セミナー

5月13日(土)～14日(日)1泊2日

ボランティアに関する知識や、よりよい人間関係を構築するための技術を学ぶ活動を通して、社会に積極的に関わろうとする若い人材を育成します。



■あかぎサンサンかがやきキャンプ

- ①7月9日(日) 日帰り
- ②9月9日(土)～10日(日) 1泊2日
- ③12月9日(土) 日帰り
- ④2月3日(土)～4日(日) 1泊2日

障がいのある子もいない子も、みんなが楽しめるキャンプです。「ひとり一人が主役のキャンプ」を大きなテーマとして、季節ごとに楽しいプログラムを用意しています。
※事業の詳細については、後日チラシやホームページ等でお知らせします。

■教員免許状更新講習

- ①7月27日(木)～29日(土)
- ②8月21日(月)～23日(水)
- ③11月3日(金)～5日(日)

自然環境や人間関係を構築するためのプログラムを通して、免許状更新とともに、教員の資質向上を図ります。プログラムは各回共通です。会場や募集方法等の詳細については、交流の家ホームページをご覧ください。